

国際教養学部(外国語) 問題解説

□■ 出題意図・評価方法・評価ポイント

全体として、英文を的確に読んで理解する力、英語で表現する力を問うています。

- 〔Ⅰ〕 トランスユーラシア語族の語系の分岐と、異なる穀物の栽培との関係を明らかにした学際的な研究プロジェクトに関する記事を読み、今日の国境を越えた民族とのつながりと、言語学、遺伝学、考古学それぞれの分野からの研究への貢献について理解できているか確認するポイントを出題し、文章の概要を的確に読み解く力を問うています。
- 〔Ⅱ〕 自律性とは何かに関する文章を読み、具体例とそれに対する筆者の解釈について理解できているか確認するポイントを出題し、文章の概要を的確に読み解く力と、文章内容をふまえて英語で発信する力を問うています。
- 〔Ⅲ〕 コウイカのユニークな生態について、文章に基づいて視覚的にイメージしながら具体的かつ正確に理解し、表現できるかを問うています。周囲に溶け込むために皮膚の色を変色させるメカニズム、捕食のしかた、繁殖のための工夫などを理解しているかを確認し、経験に基づいて好物のエサをもらえるまで待つ知能については、日本語と英語による表現力を求めています。

□■ 受験生へのメッセージ

本学の英語科目の試験においては以下の能力を測っています。

- ・文章を迅速かつ的確に読み取る力（読解力）
- ・論点を正確に把握し、日本語で分かりやすく説明する力（説明力）
- ・英文の構造を理解して、適切な日本語に置き換える力（和訳）
- ・単に日本語を英語に書き換えるのではなく、自分の意見等を英語で表現する力（自由英作文）

高校の授業での英語学習に加えて、日頃から新聞、雑誌、学術書などのオーセンティックな英語（実際に使用されている英語）に触れておくことをお勧めします。また、本学入学後は、「学ぶための英語」ではなく、「使うための英語」の学修が求められます。リーディングやリスニングといった受信型スキルだけでなく、スピーキングやライティングといった発信型スキルの修得を高校時代から心掛けておくとうよいでしょう。